

基本構想原案について各部・課等から出された意見について

意見提出部・課	内容	修正案
●基本構想を考えるための要素の整理について		
産業振興部	土台となる「須坂らしさ」活かすべき須坂の強みについて、「果樹産地」という表現は適切か。	「果樹産地」⇒「果物産地」に修正。
商業観光課	「有数の（果物産地）」を「国内有数の（果物産地）」へ変更してはどうか。	担当課提案のとおり修正。
商業観光課	「農・工・商・観」を「農・商・工・観」に記載を変えてはどうか。	担当課提案のとおり修正。
子ども課	①土台となる「須坂らしさ」は長所のみを指しているのか。 ②「弱み・課題の克服」の中身について、長短両方の施策があるが良いのか。	①活かすべき須坂の強みや特色として、基本的には長所を中心に表現している。 ②基本的に今後10年間を見据えた上で対応・改善しなければならない事柄を意図しているため、分かりやすい表現に修正。
●新たなビジョン策定のための筋書きについて		
産業振興部	いまの課題について、「果樹王国」という表現は適切か。	「果樹王国」⇒「果物王国」に修正。
教育委員会 (教育次長、学校教育課長)	未来の変化とチャンスで、「子どもが少ない分…教育費が増え」という表現は適切か。 未来の変化とチャンスで「子育てしやすさ・豊かな教育機会があることは…」という表現は適切か。	「少子化が進む一方、子育てや教育分野を取り巻くニーズも多様化・複雑化するなか、子育てしやすい環境や豊かな教育機会があることは…」と表現を修正。
学校教育課	未来の変化とチャンスの欄外の項目出しに「子育てしやすさ」「豊かな教育機会」を加えたらどうか。	少子化の背景で、市がこれまで取組んできた施策やメリットを生かす機会として大切な視点であるため、担当課意見のとおり両者を追加。
商業観光課	未来の変化とチャンスの欄外の項目出しに「SDGs」を加えたらどうか。	SDGsの理念に沿って各施策を進めることは、事業を効果的に進める上でも重要な視点であり、追記。
●基本構想原案について		
総務課	3つのチャレンジ指針が、どのように須坂市の将来像に結びつくのかが分かりにくいように感じる。須坂市の将来像実現のため、なぜ3つの指針が必要か、これらがどのような役割を果たすのかが明確になると、より腹落ちしやすいのではないか。	⇒策定委員会で意見を求めることとします。

意見提出部・課	内容	修正案
●基本目標（分野別目標）について		
人権同和教育課	<p>基本目標①</p> <p>「新たな時代の基本的人権（貧困、ジェンダー、ダイバーシティ、インクルーシブなど※）を見つめ直し」</p> <p>⇒「多様性を互いに認め合う共生社会にみあった人権尊重の在り方を見つめ直し」と表現を修正してはどうか。</p>	担当課提案のとおり修正。
市民課	<p>基本目標⑦</p> <p>「次世代の快適でスムーズな移動を実現する」を「まちづくりと連携した、利便性の高い持続可能な移動手段を実現する」としてはどうか。</p>	担当課提案のとおり修正。
総務課	<p>基本目標⑧</p> <p>「選択と集中の行政運営」とあるが、この「選択と集中」の方向性を示すのが総合計画であり、計画の中に「新しいチャレンジ」として「選択した結果」を記載すべき。</p> <p>「新しいチャレンジ」が何を指しているのか、また、どの方向を向いたチャレンジなのか、具体的な施策検討に向けて政策の「選択と集中」を行い、「新しいチャレンジ」がどの政策・施策を指しているのか明確になるよう構成してはどうか。</p>	⇒策定委員会で意見を求めることとします。